



# Daigasグループ 2024年3月期 第3四半期決算 プレゼンテーション資料

2024年1月30日 大阪ガス株式会社

<b>I. 24.3期 第3四半期決算と見直し修正の概要</b>	- 2	<b>II. 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較</b>	- 10
• 24.3期 第3四半期決算のポイント	- 3	• 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較	- 11-15
• 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較	- 4		
• 24.3期 見直し修正について	- 5	<b>III. 24.3期 見直しの対前回見直し比較</b>	- 16
• 24.3期 見直しの対前回見直し比較	- 6	• 24.3期 見直しの対前回見直し比較	- 17-21
• 24.3期 見直しの対前年実績比較のポイント	- 7	<b>IV. 24.3期 見直しの対前年実績比較</b>	- 22
• 24.3期 見直しの対前年実績比較	- 8	• 24.3期 見直しの対前年実績比較	- 23-27
• 成長投資の実績と見直し	- 9	<b>V. 補足情報</b>	- 28
		• 通期見直しに対する主な収支変動要因	- 29

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。  
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「実績」に関する注意事項：当社及び一部の国内連結子会社は24.3期からグループ通算制度へ移行しております。

「見直し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見直し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見直しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

24.3期見直しについては、2023年10月27日公表の自己株式の取得による影響を反映しています。24.3期見直しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、2024年1月1日以降の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

国内ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。名張近鉄ガス・新宮ガスは12月決算です。

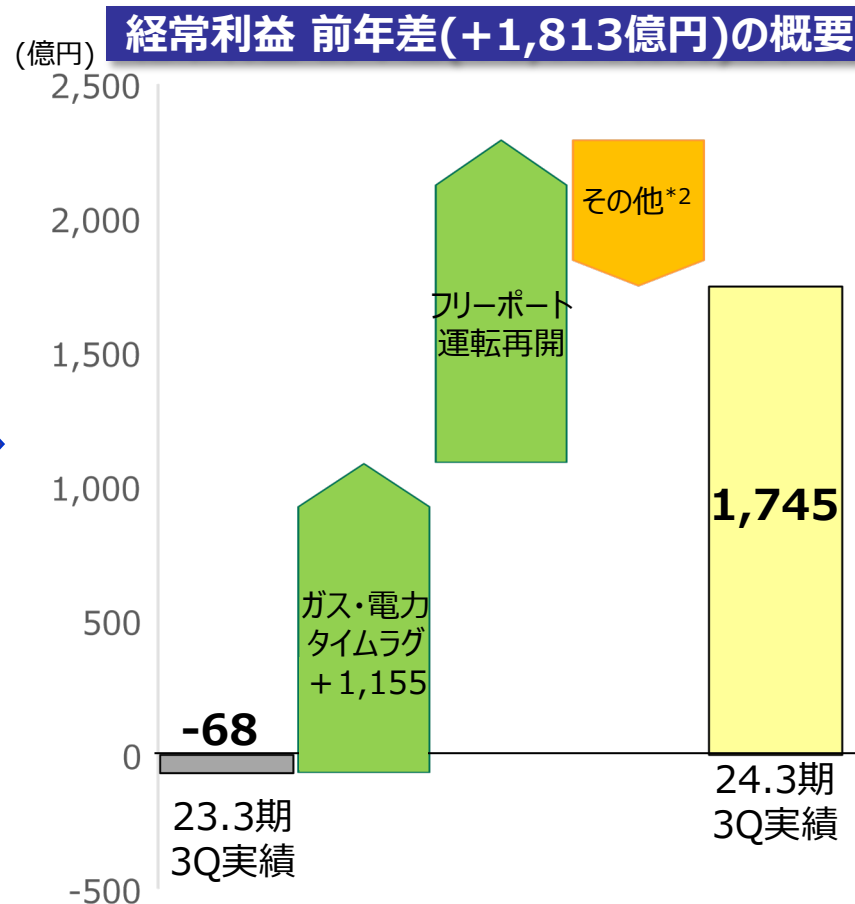
# I . 24.3期 第3四半期決算と見直し修正の概要

## 24.3期 第3四半期決算のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業でのLNG販売価格の下落や、ガス販売量の減少等により、前年に比べて減収。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、タイムラグ差損益の改善や、フリーポートLNG液化基地の運転再開等により、前年に比べて増益。
- ✓ 10月27日公表の自己株式の取得状況は、上限200億円に対し12月末で107億円(進捗率約54%)。

(億円)	24.3期 3Q実績	23.3期 3Q実績	前年差
売上高	15,101	15,965	▲863
経常利益	1,745	-68	+1,813
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,264	-13	+1,278
ROIC *1	5.3%	-0.0%	+5.3%

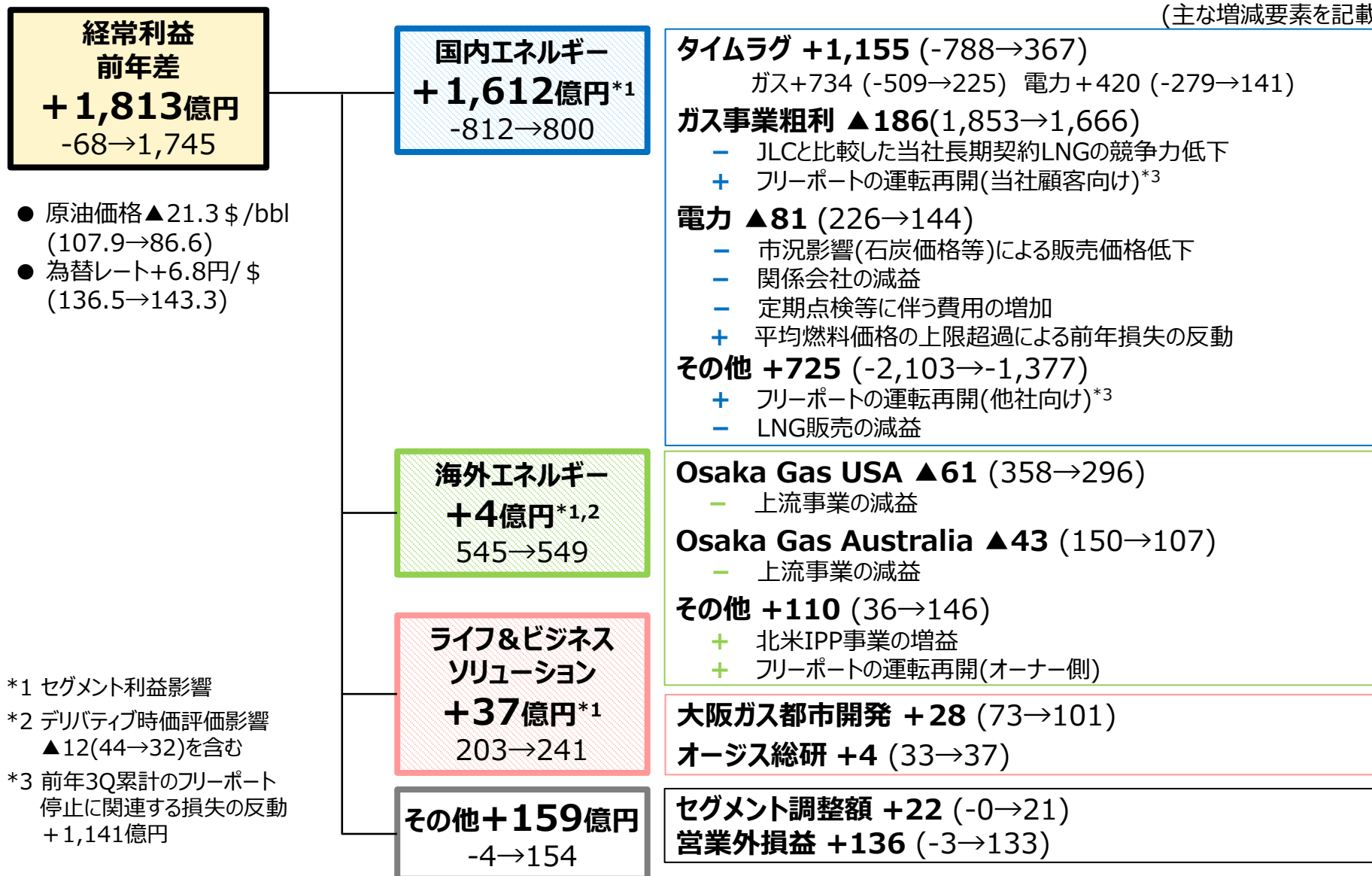
\*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)  
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等  
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)



\*2 JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力低下等、主に市況要因

# 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)



- 原油価格▲21.3 \$/bbl (107.9→86.6)
- 為替レート+6.8円/\$ (136.5→143.3)

\*1 セグメント利益影響  
 \*2 デリバティブ時価評価影響 ▲12(44→32)を含む  
 \*3 前年3Q累計のフリーポート停止に関連する損失の反動 +1,141億円

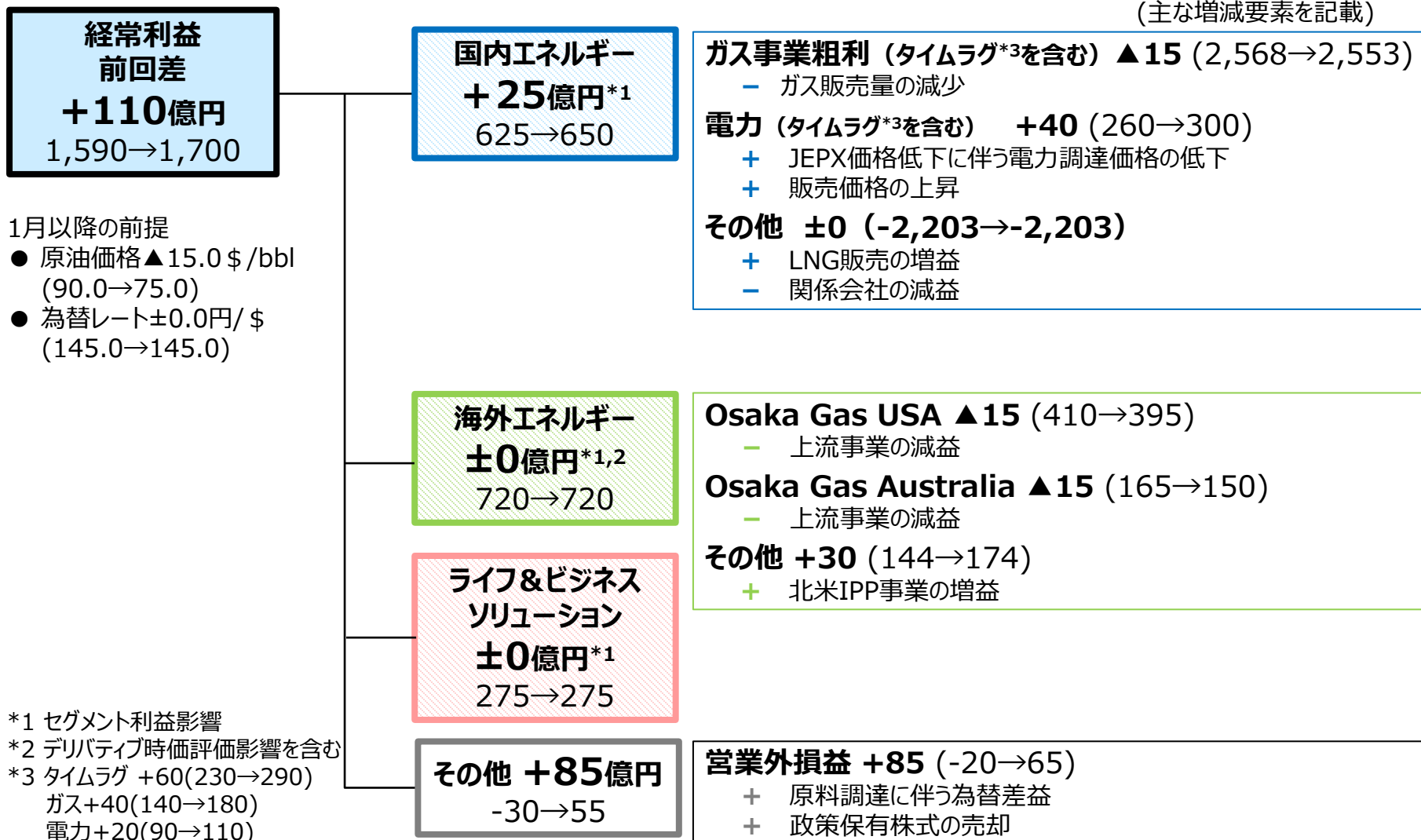
## 24.3期 見通し修正について

- ✓ 24.3期第3四半期の業績動向等を踏まえ、通期見通しの修正を行う。
- ✓ 売上高は、LNGの販売収益の増加等により、前回(2023年10月27日)見通しから260億円上回る、2兆1,210億円を見込む。
- ✓ 経常利益は、為替差益等により営業外収益が増加したこと等により、前回見通しを110億円上回る、1,700億円を見込む。
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は、第4四半期の特別損失等の計上を見込み、前回見通しを据え置く。

(億円)	24.3期 修正見通し	24.3期 前回見通し	前回差
<b>売上高</b>	<b>21,210</b>	20,950	<b>+260</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,700</b>	1,590	<b>+110</b>
国内エネルギー	<b>650</b>	625	<b>+25</b>
海外エネルギー	<b>720</b>	720	<b>±0</b>
ライフ&ビジネス ソリューション	<b>275</b>	275	<b>±0</b>
その他	<b>55</b>	-30	<b>+85</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,160</b>	1,160	<b>±0</b>

# 24.3期 見通しの対前回見通し比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)



\*1 セグメント利益影響

\*2 デリバティブ時価評価影響を含む

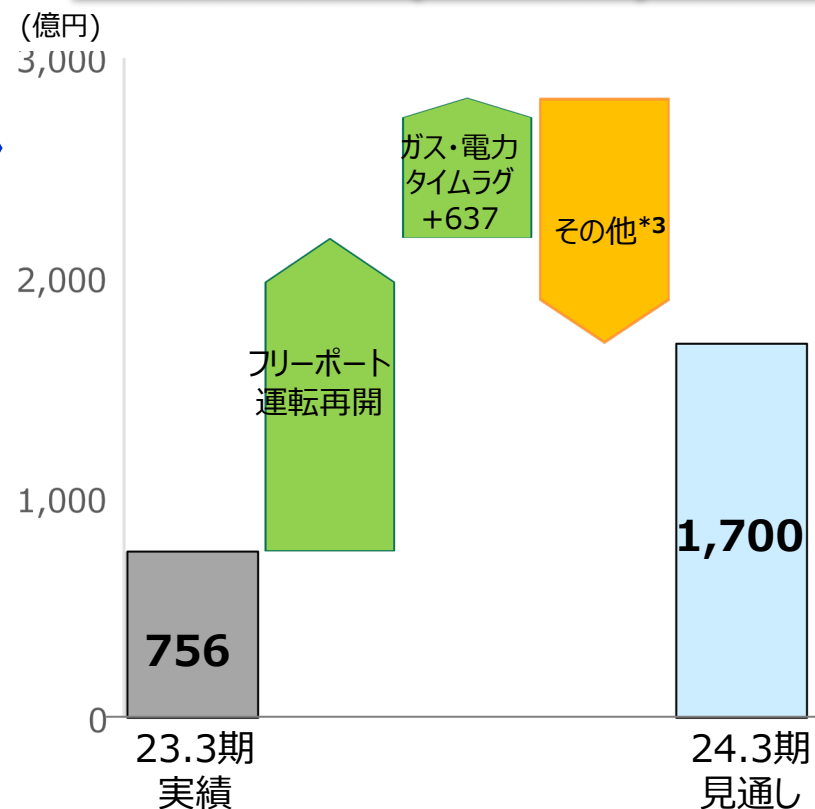
\*3 タイムラグ +60(230→290)  
 ガス+40(140→180)  
 電力+20(90→110)

## 24.3期 見通しの対前年実績比較のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業でのLNG販売価格の下落や、ガス販売量の減少等により、23.3期に比べて減収となる見通し。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、フリーポートLNG液化基地の運転再開、タイムラグ差損益の改善等により、23.3期に比べて増益となる見通し。

(億円)	24.3期 通期見通し	23.3期 通期実績	前年差
売上高	<b>21,210</b>	22,751	▲1,541
<b>経常利益</b>	<b>1,700</b>	756	<b>+943</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>1,160</b>	571	<b>+588</b>
ROIC (%) <sup>*1</sup>	<b>5.5%</b>	2.7%	<b>+2.8%</b>
自己資本比率 (%) <sup>*2</sup>	<b>52.1%</b>	52.5%	▲0.4%
D/E比率(倍) <sup>*2</sup>	<b>0.56</b>	0.60	▲0.04
配当額(円/株)	<b>65.0</b>	60.0	<b>+5.0</b>

### 経常利益 前年差(+943億円)の概要



\*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)  
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等  
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

\*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

\*3 JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力低下等、主に市況要因



# 24.3期 見通しの対前年実績比較(経常利益)

**経常利益  
前年差  
+943億円**  
756→1,700

- 原油価格▲19.1 \$/bbl (102.7→83.6)
- 為替レート +8.3円/\$ (135.5→143.8)

**国内エネルギー  
+923億円\*1**  
-273→650

**海外エネルギー  
+22億円\*1,2**  
697→720

**ライフ&ビジネス  
ソリューション  
▲17億円\*1**  
292→275

**その他 +14億円**  
40→55

**タイムラグ +637**(-347→290)  
ガス+344(-164→180) 電力+293(-183→110)

**ガス事業粗利 ▲94** (2,467→2,373)

- JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力低下
- + フリーポートの運転再開(当社顧客向け) \*3
- + 23.3期の平均原料価格の上限超過による損失の反動

**電力 ▲106** (296→190)

- 市況影響(石炭価格等)による販売価格低下
- 定期点検等に伴う費用の増加
- + 23.3期の平均燃料価格の上限超過による損失の反動
- + 需給調整市場の利益増

**その他 +487** (-2,690→-2,203)

- + フリーポートの運転再開(他社向け) \*3
- LNG販売の減益

**Osaka Gas USA ▲30** (425→395)

- 上流事業の減益
- + フリーポートの運転再開(オーナー側)

**Osaka Gas Australia ▲68** (218→150)

- 上流事業の減益(LNG販売価格の低下)

**その他 +121** (52→174)

- + フリーポートの運転再開(オーナー側)

**Jacobi ▲6** (68→62)

**オーガス総研 ▲6** (57→51)

**セグメント調整額 ▲23** (13→-10)

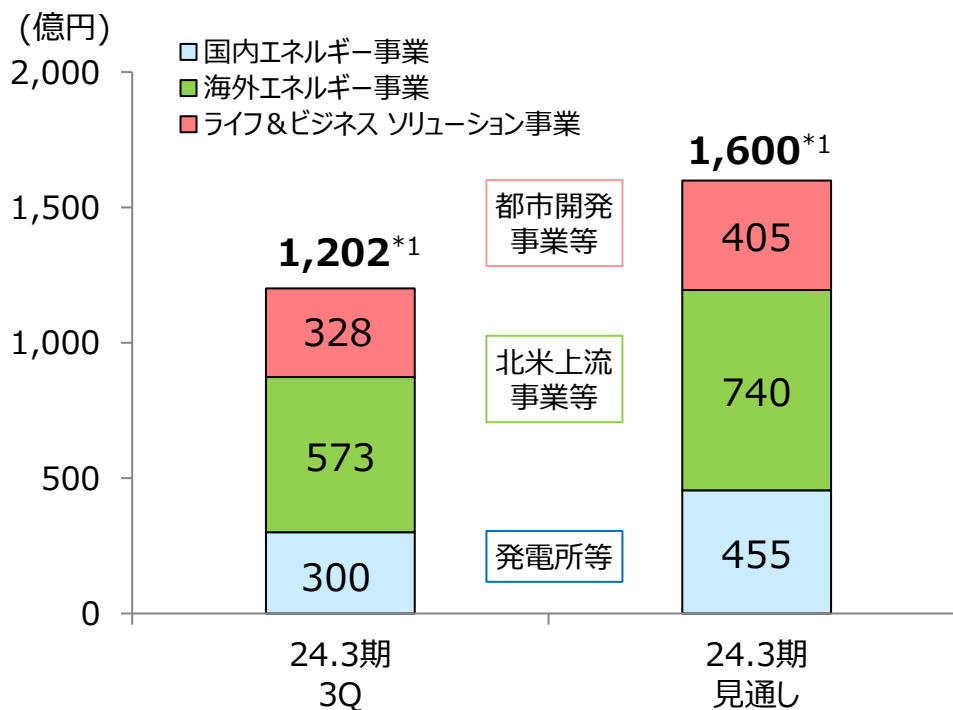
**営業外損益 +37** (27→65)

\*1 セグメント利益影響  
\*2 デリバティブ時価評価影響を含む  
23.3期は48億円を含む  
\*3 前年度のフリーポート  
停止に関連する損失の反動  
+1,317億円

# 成長投資の実績と見通し

- ✓ 24.3期第3四半期累計の成長投資額は、1,202億円。
- ✓ 財務健全性は、中期経営計画で示す「自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度」を確保。

## 成長投資



## 財務健全性指標

- 発行済ハイブリッド社債1,750億円の資本性50%を調整。  
(括弧内の数値は調整前)

	23.3期 期末実績	24.3期 3Q末実績	24.3期 期末見通し
<b>自己資本比率</b>	52.5% (49.3%)	54.4% (51.5%)	52.1% (49.2%)
<b>D/E比率</b>	0.60 (0.71)	0.56 (0.65)	0.56 (0.65)

\*1 成長投資額には設備投資案件以外に出資・融資案件を含むため、設備投資額とは異なる

## Ⅱ. 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較

## 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	15,101	15,965	-863	-5.4%	LNG販売価格の下落 等
営業利益	1,406	-149	+1,556	-	タイムラグ差損益 等
経常利益	1,745	-68	+1,813	-	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 <sup>*1</sup>	367	-788	+1,155	-	
(個別)ガス事業	225	-509	+734	-	
(個別)電力事業	141	-279	+420	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,264	-13	+1,278	-	タイムラグ差損益 等
一株あたり当期純利益(円)	304.5	-3.4	+307.9	-	
EBITDA <sup>*2</sup>	2,496	799	+1,697	+212.2%	タイムラグ差損益 等
NOPAT <sup>*3</sup>	1,306	-0	+1,306	-	タイムラグ差損益 等

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

\*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	86.6	107.9	-21.3	24.3期実績は12月速報値までの平均
為替(円/\$)	143.3	136.5	+6.8	

## 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較 - ②資産等

億円	A. 24.3期 3Q末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	30,884	28,195	+2,688	
自己資本	15,918	13,914	+2,004	
一株当たり純資産(円)	3,864.1	3,347.3	+516.8	
有利子負債	10,348	9,815	+532	
ハイブリッド社債	1,750	1,750	±0	

	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	備考
ROIC <sup>*1</sup>	5.3%	-0.0%	+5.3%	タイムラグ差損益 等
ROE	8.5%	-0.1%	+8.6%	タイムラグ差損益 等

\*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 24.3期 3Q末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	51.5%	49.3%	+2.2%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*2</sup>	54.4%	52.5%	+1.9%	
D/E比率	0.65	0.71	-0.06	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*2</sup>	0.56	0.60	-0.04	

\*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

## 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	備考
品質向上投資	475	429	+46	
成長投資	1,202	1,234	-32	
国内エネルギー	300	413	-113	
海外エネルギー	573	563	+9	
ライフ&ビジネス ソリューション	328	257	+71	
設備投資	1,451	1,338	+112	
減価償却費	884	864	+20	

億円	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	備考
フリーキャッシュフロー <sup>*1</sup>	558	-2,901	+3,460	

\*1 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較 - ④件数、販売量等

	A. 24.3期 3Q末実績	B. 23.3期 3Q末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,269	9,979	+290	+2.9%	
ガス供給件数(千件)	5,037	4,997	+41	+0.8%	
低圧電気供給件数(千件)	1,811	1,685	+126	+7.5%	

	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )* <sup>1,2</sup>	4,670	4,931	-261	-5.3%	
家庭用	1,044	1,096	-53	-4.8%	
業務用等	3,626	3,834	-209	-5.4%	
国内電力販売量(百万kWh)* <sup>2</sup>	10,713	11,487	-774	-6.7%	
小売	4,828	4,579	+249	+5.4%	
卸等	5,885	6,909	-1,024	-14.8%	

	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	備考
平均気温(°C)	21.0	20.8	+0.2	

\*1 45MJ/m<sup>3</sup>

\*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

## 24.3期 第3四半期決算の対前年実績比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 3Q実績	B. 23.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	15,101	15,965	-863	-5.4%	
国内エネルギー	12,830	13,760	-930	-6.8%	LNG販売価格の下落 等
海外エネルギー	797	903	-106	-11.8%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,004	1,831	+172	+9.4%	
調整	-530	-530	+0	-	

セグメント利益 <sup>*1</sup>	1,612	-64	+1,676	-	
国内エネルギー	800	-812	+1,612	-	
内、電力	285	-53	+338	-	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	549	545	+4	+0.9%	
ライフ&ビジネス ソリューション	241	203	+37	+18.3%	都市開発事業の増益 等
調整	21	-0	+22	-	

タイムラグ差損益 <sup>*2</sup>	367	-788	+1,155	-	
(個別)ガス事業	225	-509	+734	-	
(個別)電力事業	141	-279	+420	-	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響 <sup>*3</sup>	32	44	-12	-27.4%	

\*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

\*2 国内エネルギーの内数

\*3 海外エネルギーの内数



## Ⅲ. 24.3期 見通しの対前回見通し比較

## 24.3期 見通しの対前回見通し比較- ①売上高・利益等

億円	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	21,210	20,950	+260	+1.2%	LNG販売増による増収 等
営業利益	1,395	1,395	±0	±0%	
経常利益	1,700	1,590	+110	+6.9%	為替差益 等
タイムラグ差損益 <sup>*1</sup>	290	230	+60	+26.1%	
(個別)ガス事業	180	140	+40	+28.6%	
(個別)電力事業	110	90	+20	+22.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	1,160	±0	±0%	
一株当たり当期純利益(円) <sup>*2</sup>	280.0	279.1	+0.9	+0.3%	自己株式取得による発行済株式数の減少
EBITDA <sup>*3</sup>	2,835	2,810	+25	+0.9%	
NOPAT <sup>*4</sup>	1,327	1,267	+60	+4.7%	

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 24.3期見通しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、2024年1月1日以降の自己株式取得分の影響は含んでおりません

\*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

\*4 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	83.6	86.8	-3.2	4Q前提：75\$/bbl
為替(円/\$)	143.8	143.0	+0.7	4Q前提：145円/\$

## 24.3期 見通しの対前回見通し比較- ②資産等

億円	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
総資産	30,918	30,918	±0	
自己資本	15,221	15,221	±0	
一株当たり純資産(円) <sup>*1</sup>	3,694.8	3,661.8	+33.0	自己株式取得による発行済株式数の減少
有利子負債	9,926	9,926	±0	

\*1 24.3期見通しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、2024年1月1日以降の自己株式取得分の影響は含んでおりません

	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
ROIC <sup>*2</sup>	5.5%	5.2%	+0.2%	
ROE	8.0%	8.0%	±0%	

\*2 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)  
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等  
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
自己資本比率	49.2%	49.2%	±0%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*3</sup>	52.1%	52.1%	±0%	
D/E比率	0.65	0.65	±0.00	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*3</sup>	0.56	0.56	±0.00	

\*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

## 24.3期 見通しの対前回見通し比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
品質向上投資	900	900	±0	
成長投資	1,600	1,600	±0	
設備投資	2,140	2,140	±0	
減価償却費	1,200	1,200	±0	

億円	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,905	2,820	+85	
投資活動によるキャッシュ・フロー <sup>*1</sup>	2,500	2,500	±0	
フリーキャッシュフロー <sup>*2</sup>	405	320	+85	

\*1 見通しは投資額を記載

\*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 24.3期 見通しの対前回見通し比較- ④件数、販売量等

	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,300	10,156	+144	+1.4%	

	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )* <sup>1,2</sup>	6,678	6,778	-100	-1.5%	
家庭用	1,693	1,715	-22	-1.3%	
業務用等	4,985	5,063	-78	-1.5%	
国内電力販売量(百万kWh)* <sup>2</sup>	15,620	15,620	±0	±0%	

	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	備考
平均気温(℃)	17.8	17.7	+0.1	

\*1 45MJ/m<sup>3</sup>

\*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

## 24.3期 見通しの対前回見通し比較- ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 今回見通し	B. 24.3期 10/27見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	21,210	20,950	+260	+1.2%	
国内エネルギー	17,925	17,635	+290	+1.6%	LNG販売増による増収 等
海外エネルギー	1,240	1,270	-30	-2.4%	米国及び豪州での上流事業の減収 等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,775	2,775	±0	±0%	
調整	-730	-730	±0	-	

セグメント利益 <sup>*1</sup>	1,635	1,610	+25	+1.6%	
国内エネルギー	650	625	+25	+4.0%	
内、電力	300	260	+40	+15.4%	電力調達価格の低下 等
海外エネルギー	720	720	±0	±0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	275	275	±0	±0%	
調整	-10	-10	±0	-	

タイムラグ差損益 <sup>*2</sup>	290	230	+60	+26.1%	
(個別)ガス事業	180	140	+40	+28.6%	
(個別)電力事業	110	90	+20	+22.2%	

\*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

\*2 国内エネルギーの内数

## IV. 24.3期 見通しの対前年実績比較

## 24.3期 見通しの対前年実績比較- ①売上高・利益等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	21,210	22,751	-1,541	-6.8%	LNG販売価格の下落 等
営業利益	1,395	600	+794	+132.5%	LNG調達等に伴う費用減 等
経常利益	1,700	756	+943	+124.7%	LNG調達等に伴う費用減 等
タイムラグ差損益 <sup>*1</sup>	290	-347	+637	-	
(個別)ガス事業	180	-164	+344	-	
(個別)電力事業	110	-183	+293	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	571	+588	+103.1%	LNG調達等に伴う費用減 等
一株当たり当期純利益(円) <sup>*2</sup>	280.0	137.4	+142.6	+103.8%	
EBITDA <sup>*3</sup>	2,835	1,927	+907	+47.1%	LNG調達等に伴う費用減 等
NOPAT <sup>*4</sup>	1,327	593	+734	+123.7%	LNG調達等に伴う費用減 等

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 24.3期見通しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、2024年1月1日以降の自己株式取得分の影響は含んでおりません

\*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

\*4 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	83.6	102.7	-19.1	4Q前提：75\$/bbl
為替(円/\$)	143.8	135.5	+8.3	4Q前提：145円/\$



## 24.3期 見通しの対前年実績比較- ②資産等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	30,918	28,195	+2,722	
自己資本	15,221	13,914	+1,307	
一株当たり純資産(円) <sup>*1</sup>	3,694.8	3,347.3	+347.5	
有利子負債	9,926	9,815	+110	

\*1 24.3期見通しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、2024年1月1日以降の自己株式取得分の影響は含んでおりません

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
ROIC <sup>*2</sup>	5.5%	2.7%	+2.8%	LNG調達等に伴う費用減 等
ROE	8.0%	4.3%	+3.7%	LNG調達等に伴う費用減 等

\*2 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	49.2%	49.3%	-0.1%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*3</sup>	52.1%	52.5%	-0.4%	
D/E比率	0.65	0.71	-0.05	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*3</sup>	0.56	0.60	-0.04	

\*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

## 24.3期 見通しの対前年実績比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	900	650	+249	
成長投資	1,600	1,722	-122	
国内エネルギー	455	536	-81	
海外エネルギー	740	762	-22	
ライフ&ビジネス ソリューション	405	422	-17	
設備投資	2,140	1,953	+186	
減価償却費	1,200	1,198	+1	

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,905	335	+2,569	前年度の運転資本増加の反動 等
投資活動によるキャッシュ・フロー <sup>*1</sup>	2,500	2,039	+460	
フリーキャッシュフロー <sup>*2</sup>	405	-1,703	+2,108	

\*1 見通しは投資額を記載

\*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 24.3期 見通しの対前年実績比較- ④件数、販売量等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,300	10,021	+279	+2.8%	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )* <sup>1,2</sup>	6,678	6,845	-167	-2.4%	
家庭用	1,693	1,697	-4	-0.2%	
業務用等	4,985	5,148	-163	-3.2%	
国内電力販売量(百万kWh)* <sup>2</sup>	15,620	15,883	-263	-1.7%	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.8	17.8	-0.0	

\*1 45MJ/m<sup>3</sup>

\*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

## 24.3期 見通しの対前年実績比較- ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	21,210	22,751	-1,541	-6.8%	
国内エネルギー	17,925	19,716	-1,791	-9.1%	LNG販売価格の下落 等
海外エネルギー	1,240	1,232	+7	+0.6%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,775	2,585	+189	+7.3%	
調整	-730	-784	+54	-	

セグメント利益 <sup>*1</sup>	1,635	729	+905	+124.2%	
国内エネルギー	650	-273	+923	-	
内、電力	300	113	+186	+164.0%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	720	697	+22	+3.3%	
ライフ&ビジネス ソリューション	275	292	-17	-5.9%	材料ソリューション事業の減益 等
調整	-10	13	-23	-	

タイムラグ差損益 <sup>*2</sup>	290	-347	+637	-	
(個別)ガス事業	180	-164	+344	-	
(個別)電力事業	110	-183	+293	-	

\*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

\*2 国内エネルギーの内数

## V. 補足情報

# 通期見通しに対する主な収支変動要因

## 気温・水温影響

変動幅	家庭用ガス販売量への影響
気水温 +1℃	-7%

## 油価・為替影響

1月以降の下記前提に対して  
変化が生じた際の影響額

### <前提>

- 原油価格 75 \$/bbl
- 為替レート 145円/\$

変動幅	セグメント	収支影響	経常利益への影響額
原油価格 +1\$/bbl	海外エネルギー	影響なし	-0.0億円
	国内エネルギー	減益	
為替レート +1円/\$	海外エネルギー	影響なし	-10.4億円
	国内エネルギー	減益	

